

令和8年 5月12日 (火)

岐阜新聞朝刊 2面

ぎふ薬学フォーラムでワーク
ショップを行う中井清人さん
(左端)と若手薬剤師ら＝岐阜
市橋本町、じゅぽうプラザ



薬剤師の今と未来を考える

大学・高校生向けに 岐阜市でフォーラム

薬学部の大学生や薬学部
への進学を目指す高校生ら
に、薬剤師の現状と将来性
への理解を促す「ぎふ薬学
フォーラム2026」が10
日、岐阜市橋本町のじゅぽ
うプラザで開かれた。学
生170人をはじめ、生徒
や保護者、協賛企業関係者
ら計320人が参加した。
フォーラムは昨年に続く
第2回で、岐阜放送などが
主催し、岐阜新聞社などが
後援。3部に分かれ、第1部
では厚生労働省で薬系技官
を長年務め、現在は医薬品
医療機器総合機構（PMD

A）安全管理監の中井清人
さんによるワークショップ
が行われた。勤務5〜7年
目の若手薬剤師4人が「キ
ャリア不安」など三つの課
題について現状や質問を投
げかけ、中井さんが政策的
な視点から意見を述べた。
「人手不足と業務負荷の
増大」に対して中井さんは
「ICT（情報通信技術）
を活用して効率化を図るべ
き。薬剤師も国側も絶えず
勉強しないといけない」と
アドバイスを送った。また、
病院薬剤師と地域の薬局と
の連携も提言した。

第2部では県内の大学、
へき地医療、医療行政と異
なる分野に携わっている3

人の薬剤師がトークセッ
ション。第3部では薬学生と
薬剤師らの交流・懇親会が
行われ、キャリア形成や進
路について理解を深めた。

（大堀瑠美）